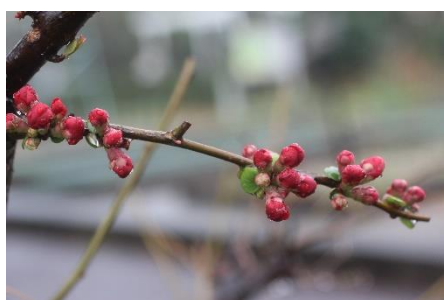


薬草園かわらばん

皆さんちょっと覗いてみませんか？
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2018年
3月12日
第35号



ボケ（バラ科）

いささか気が引ける名前ですね！
中国名の「木瓜」から名が付いたようです。中国原産の落葉低木で小枝がトゲになります。中部地方ではこの時期に花を付けますが、熊本地方では一年中「ボケ咲き」の花を付けます。果実は秋に熟し、酒石酸やリンゴ酸を含み香りが良いので砂糖漬けや果樹酒「ボケ酒」として疲労回復に用います。

生薬としては、偽果を木瓜（もっか）と呼び強壮、鎮咳、利尿薬として用います。なお、生薬名「木瓜」は、ボケの偽果だけでなく、カリンの偽果も指します。日本市場で「木瓜」として多く流通しているのはカリン由来のほうなので、こちらの方を「皺皮木瓜」（シュウヒモッカ）と呼んで区別することもあります。

アセビ（ツツジ科）

今、温室横で壺状の白い花が下向きに咲いているのが見られます。主に山野に生えていますが、庭の生垣や公園にも植えられる常緑低木で葉は枝先に集まって付いてます。

アセビは漢字で「馬酔木」と書きますが、家畜などが食べると、嘔吐や運動麻痺が起きることからきているようです。葉や茎に有毒のジテルペノイド（アセボトキシンⅠ～Ⅶ、グラヤノトキシンⅢなど）が含まれ、服用厳禁です。薬用植物としては、葉や茎の煎じ液をウジ殺しや家畜の皮膚の寄生虫駆除、農作用殺虫剤として用います。

今、梅も満開ですよ～！待ってま～す！！